

\$ 社会

化学品製品安全

製品安全方針

当社グループは、化学物質が人々の健康・安全および環境（HSE）に与える影響を経営上の重要な課題と認識し、HSEを基盤としたリスクベースの化学物質管理を推進しています。

製品の開発から製造、使用、廃棄に至る全ライフサイクルにおいて、施設・プロセス・技術に関わる安全性向上に継続的に取り組むと共に、プロダクト・スチュワードシップを実践しています。

また、科学的根拠に基づいた適切な管理と情報開示・対話を通じて社会的責任を果たし、安全で信頼される製品を社会に提供していきます。

ライフサイクルにおける製品安全のための 化学物質管理の流れ

化学製品のライフサイクル全体にわたる製品安全のための化学物質管理を基盤に据えて事業活動を展開しています。

リスクアセスメントや法規制調査を徹底し、設計段階でのリスク低減を重視しています。また、SDS^{※1}の作成および改訂やラベル表示管理を実施し、顧客に正確な情報を提供することで、適正な使用と信頼性を確保しています。

さらに輸出においては、安全保障輸出管理規程に基づく該非判定や取引審査を厳格に実施し、国際法令の遵守を徹底することで、グローバルでの責任ある事業運営を実現しています。

製品安全のための化学物質管理の高度化

当社グループは、2026年に化学物質管理課を新設し、国内外の化学品規制への対応体制を強化しました。化学物質管理課では、SDSや製品ラベルの作成・改訂プロセスを見直し、情報の正確性・迅速性を向上させています。

また、製品情報のデータベースを強化し、サプライチェーン全体に安全情報を確実かつ効率的に伝達できる仕組みを整備しています。これにより、顧客や輸送会社などの関係先が、法規制に適合した形で安全に製品を取り扱えるよう支援しています。

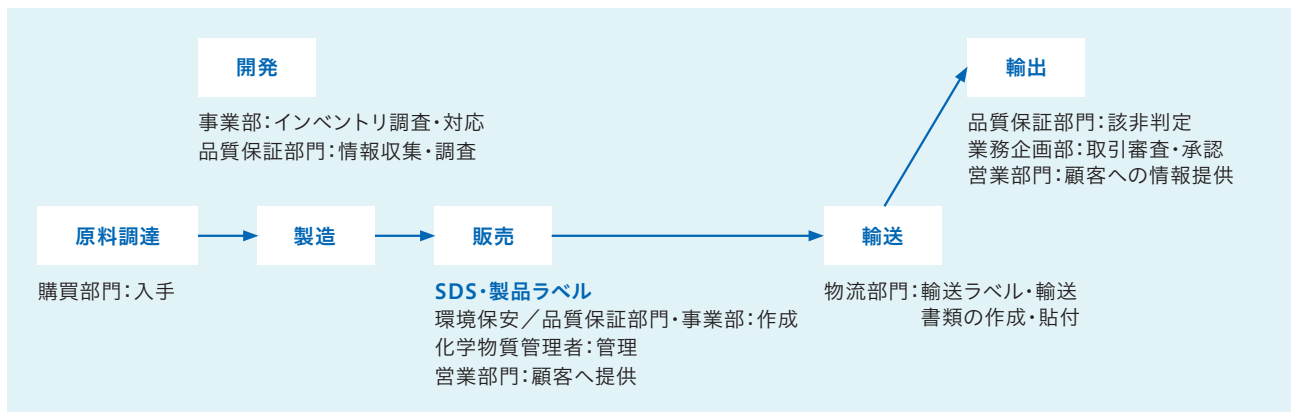
さらに、社内向けに安衛法^{※2}や化審法^{※3}などの国内法規制、海外輸出に関する各国の法規制、危険物輸送などに関する教育を定期的実施し、法令順守に必要な知識の向上に努めています。

今後も、国内外の規制動向を的確に把握し、専門性の強化と体制の継続的な改善を通じて、化学物質管理の高度化を推進していきます。

※1 SDS：安全データシート

※2 安衛法：労働安全衛生法

※3 化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律



製品含有化学物質の情報伝達管理

当社は、SDS・ラベル・技術資料等を通じて、化学物質に関する情報を適切に提供し、お客様の安全確保に努めています。さらに、CMPコンソーシアムに参画するとともにchem SHERPAを活用し、サプライチェーン全体における化学物質情報の共有・伝達を強化してまいります。

また、グリーン調達ガイドラインに基づき、環境負荷の少ない原材料の調達およびサプライヤーとの連携を進めることで、製品のライフサイクル全体における安全性および環境配慮を確保し、お客様や社会から信頼される製品の提供に努めています。

顧客の健康と安全

当社は、HSEを基盤とした化学物質管理により、お客様の健康と安全に対する悪影響の未然防止に努めます。そして、危険有害性情報の適切な管理および提供を行い、安全に使用可能な製品を提供します。